

目的：死亡者数増加への対応方策の一つとして、法医や監察医と連携した検査・解剖体制の構築のため、地域における協力施設の確保・連携をめざす。

《2022年度の進捗状況（予定を含む）》

- モデル地域内（堺・泉州地域）において、死亡時画像診断(CT)の受入協力機関を確保するため、医療機関に対する意向調査を実施中。
- ・堺地域……予定 3 病院のうち 2 病院から個別ヒアリング
 - ・泉州地域…… 8 病院に対して個別ヒアリング予定

《今後の予定》

- I 個別ヒアリングの結果を集約しリスト化
 - II ワーキンググループにヒアリング結果を報告し情報を共有
 - III 法医及び監察医に協力医療機関に対する支援を要請
 - IV 警察とリストを共有し先行して「死因・身元調査法」による警察依頼の死亡時画像診断を試行実施
 - V 警察医とリストを共有し警察医判断による死亡時画像診断を実施
- ※ 法医や監察医と連携して課題解決に向けた調整を行うとともに、協力意向のあった医療機関を対象に技術的助言等を実施

<事業イメージ図>

